



▲新事務所内の様子



▲新入社員を含む東北営業所のメンバー



▲開設の会の様子

日本橋三越「蔡國華洋画展」 図録制作協力

四月に日本橋三越にて蔡國華洋画展が開催されました。それにとまない会場販売される図録の制作を画空間が協力しました。三越展の図録の制作はこれが二度目となりますが、今回はフランス紀行画集の時と同じ凸版印刷に依頼し、高い技術と担当の方の妥協のない色校正により、作品の再現性が



増し、インパクトのある仕上がりとなりました。

色校正を担当して下さった凸版印刷株式会社プリンティングディレクター日南山貴司氏からコメントをいただきました。

「図録を制作するにあたり、作品の放つ色や形の美しさに加え、蔡先生の想いやこだわりを、手にする皆様へ伝えたいと願いました。「観る人それぞれに味わい方は自由」と仰る先生のご意思を大切に、私なりに作品を咀嚼・熟考して4色（印刷物）に置き換えました。

先生のメッセージを感じて頂けたら幸いです。」



▲色校正の様子

クリロン化成 会社案内制作

このたびクリロン化成は会社案内を新制作しました。広報委員からなる制作チームに協力し、装丁から本文のレイアウトなどのデザインを画空間が担当しました。

ンが映える爽やかな会社案内はクリロンのイメージにぴったりです。シンプルで内容の濃い会社案内が出来上がりました。



東北地区の拠点「東北営業所」開設

4月1日、社長栗原の永年の想いでもありました東北の地、仙台市に東北営業所が開設されました。東北営業所は東北六県の多くのお取引先やお客様に対応する拠点となります。その開設によりクリロン化成は、七つの営業拠点で全国をカバーする体制となりました。

新しい事務所は、勾当台公園に面した趣ある建物で窓からの眺めもよく、街路樹に囲まれた場所。モチーフカラーも緑・白・茶で統一されて、自然あふれる素敵な空間です。

開業に先立って3月20日（金）仙台市青葉区の江陽グランドホテルにて、東北営業所開設の会が開かれました。約二五名の東北地区のお得意先様をお招きし、事務所を見学いただいた後、会場にて社長挨拶やメンバー紹介など

が行われました。東北営業所メンバーは、営業二名と事務三名での五人陣容。新入社員は二名、ほか三名は各地からの転勤社員でもあり、赴任したての私達にとっては初めてお会いする方とお話することができ、また東北メンバーのことも知っていただけるとても良い機会となりました。

オープンして早二カ月が経ちました。何分不慣れな身で戸惑うこともありましたが、皆様に励まされながら、新しい挑戦にやりがいを感じる毎日です。関西出身で東北にはほとんどご縁がなかったもので、早く仙台の暮らしに慣れて、東北のことにたくさん触れるのが楽しみです。

仙台にお越しの際は、ぜひ事務所までお立ち寄りください。

文・東北営業所 大隅智子

「アート北京」出展記念 4つのアートクリアファイル制作



四月下旬に北京にて「アート北京」が開催され、蔡國華作品が出品されました。それを記念して画空間では出品作品を使ったアートクリアファイルを作りました。

「Humor in life」と題した四つのシリーズ作品のユーモアあふれる世界をデザインした楽しいクリアファイルになりました。画空間ホームページ・Amazonからも購入できます。

手を放す。人生の節目。

鈴木優

私は昨年までNHKでディレクターを務めていました。一人でネタを探し、台本を書き、50名以上のスタッフと連携して「形」にする仕事です。のど自慢、高校野球、バラエティなど様々な分野を経験しました。影響力があり責任の重い、魅力的な仕事でした。…なのに退職して現在は中学校の教員を目指しています。

転職となったのは東日本大震災です。私は入局してから任地が岩手県だったので、3・11当日すぐに沿岸に向かいました。大好きな町は炎に包まれていました。子どもを失い嗚咽するお母さんや親の帰りを待ち続ける少女の声を、私は聞いて歩きました。深い葛藤が生まれ、生き方そのものに悩むようになり、その中で被災地の高校生を取材し成長に携わる経験をしました。大学時代、教師を志しながら自分には務まらないと諦めた教職でしたが、今なら自分の経験を通して、魅力的な世界がたくさんあることや、生きることの難しさ尊さを伝えられるかもしれないと思うようになりました。同時にそれは生き方への疑問を解くカギとなるのではないかと考えています。



鈴木優 (すずきゆう) プロフィール

大学では教育学部に在籍。2007年NHKに入局、番組制作を担当。2011年クリロン化成に就職する被災地の高校生を取材。その縁でHFFにも参加。2014年NHKで退職し中学校の教員を目指す。

目黒星美学園での講義

昨年夏、突然一本の電話が…。都内の私立目黒星美学園という女子校の防災担当の先生からのものでした。目黒星美学園では、東日本大震災をきっかけに、自分たちができることはないかと被災地ボランティアを行っています。その活動の中で、女子校生が主体となって考えた結果、「クリロンの商品を活用して、災害備蓄用品としたい」とまとまったそうです。女子校生や先生の想いに心打たれ、僅かながらのサポートですが、出来る範囲で一緒に取り組むことに。そして今年一月には、先生より「企業で働く女性」として生徒八〇人への特別授業の講師になって欲しいとの依頼が。そんな経験はもちろんです。先生が、先生の熱心に動かされて挑戦することに。



▲授業の様子

中学三年生に何を伝えれば良いものか…。周りに相談しても、自分らしくやれば大丈夫…。肩肘張らずに生の声を伝えよう！と、遠い学生時代を思い起こし、就職して結婚・出産をしながらクリロンで働いてきた経験談を通して、会社のことも知ってもらい、将来のことや働くことを考えるきっかけになればとの想いで話をしました。興味を持ってもらえるのかドキドキしながら話を始めると、さすが女子中学生！「反応はとても素直で、表情がくるくると変わります。途中から真剣な話になると教室の空気も一変。日常では味わうことのできない濃い三〇分間でした。何を伝えようか考えることで自分自身を振り返るきっかけにもなり、本当に貴重な経験をさせていただきました。女子校生たちの取り組みですが、女子校生目線の災害備蓄用品として注目を受け、今年三月には仙台で開催された「国連防災世界会議」で取り上げられるまでになっています。



▲仙台にて行われた「国連防災世界会議」のイベントにて

文・開発営業部 安原綾乃



「ローテンブルクにて」蔡國華

Information

画空間グッズ、Amazonにて販売開始いたしました！



アートスペース画空間で販売中のオリジナルグッズの中から、クリアファイル11種、ポストカード2種、一筆箋4種の「amazon.co.jp」販売を開始いたしました。今後、画集の販売も予定しています。

日本・中国・オーストラリアを拠点に活動する国際アーティスト蔡國華氏とアートスペース画空間が「アートをより身近に、日常をより豊かに」と願い込めて制作したオリジナルグッズ。Amazonでの販売を通して益々多くの方々にアートを身近に親しんでいただけますように。

展覧会のお知らせ

7月13日より、ドイツスケッチツアーで描かれた作品の展示をいたします。それらの作品をまとめた画集も販売いたします。詳細はHPにてご案内いたします。どうぞお楽しみに！

ユーザーの声をフィルムに表現する
クリロン化成株式会社
<http://www.kurilon.co.jp/>

心が豊かであるために・・・
KURILON Work Shop
<http://www.kurilon.co.jp/company/workshop/>

画空間ホームページ <http://www.a-kukan.com/>

